

真宗大谷派 長浜教区

5月・6月号

第24組 広報

発行日
2016年 5月1日
第171号
発行責任者
組長 美濃部俊裕

新年度の取り組みについて

組長 美濃部 俊裕



24組では、3月31日にバス2台90名で本山還座式に参加しました。当日は大変な人で、両堂は縁まで参詣者で埋め尽くされ、外の白洲でも多くの方が式の様子を見守っておられました。新聞によると1万人の参詣者だったそうです。歴史的な行事に参加し、御本尊の還座と11年に及ぶ大工事の完成の喜びを皆さんと共に味わうことができました。

さて、6月12日には、24組同朋大会が開催されます。毎年、著名な先生をお招きし、聞法させていただいてきましたが、今年度は例年と違った方法での開催を検討しています。

これまで、各寺や組では、伝統的な儀式を継承しつつ、寺の役員会や婦人会、日曜学校などの活動や同朋会を始めとする聞法活動の活性化に努めてきました。しかし、近年の社会状況の変化は激しく、寺への影響もまた大変大きいものがあります。

そこで、今年の大会では、寺や組を取り巻く現状を見つめると共に、これまでの組の取り組みを振り返ることによって、今後の寺のあり方や組事業の進め方について皆さんと共に考え、確かめていきます。講師には、本山から企画調整局の速水馨氏をお迎えし、全国の先進的な取り組みを織り交ぜ、ご指導いただく予定です。

一般の方を始め、ご住職、坊守、各寺の役員さんのご参加をお待ちしています。これからの寺や組の進むべき方向を共に見つけていきましょう。

〔組同朋大会〕日時 平成28年6月12日(日)13:30~16:30

会場 充滿寺(高月町西野)

(参詣者で埋め尽くされた御影堂)



蓮如上人御影道中



御影道中は、蓮如上人の没後、北陸での教化の御苦労とその徳を偲んで吉崎御坊(吉崎別院)で厳修される「御忌法要」に、上人の御影を本山よりお迎えして勤められたのが始まりであると伝えられています。

当地区には、5月5日(木)に明楽寺(木之本)で宿泊されます。午後8時からお勤めがあります。おさそいあわせてお参りください。お待ちしております。

忍者参上!隠れ里 伊香具の巻

総勢 170名参加

あふれる忍者

3月25日(金)、大音の誓海寺において青少年部主催の「春のつどい」が開催されました。当日はインフルエンザの流行もあり、子ども54名の参加となりました。

今回の忍者修行は尾行修行ということで、同年齢の子どもたちのグループが15作られ、風呂敷頭巾をかぶり忍者になりきって誓海寺から伊香具神社まで、それぞれのグループがそれぞれの追跡者を尾行しました。伊香具神社では、子ども対大人で相手の旗を奪い合うチャンバラごっこをしました。最後には忍者頭に扮した美濃部組長さんより、ひとりひとりがお免状をもらいました。

この忍者修行には、最低でも30名のスタッフが必要でした。そのスタッフたちは、午前中にアフタフ・バーバンさんにより研修を受けました。この研修は長浜教区青少幼年部主催の研修としておこなわれました。

伊香具神社までの下見をしたあとで、スタッフのみなさんには大音自治会館にて昼食のカレーを食べてもらいました。忍者役の人たち、カレーの準備をしてくださった人たち等、40名を超えるスタッフは、教区青少幼年部のみなさんと、ほとんどが日曜学校を卒業した高校生、大学生の若者でした。地域おこし協力隊、寺族、ご門徒の方々もお力添えくださいました。とてもありがたいことで感謝しております。

また、講師のアフタフ・バーバンの先生たちは、前日には来て再度の下見、会場設営、グループ分け等の準備をされました。そして先生方の夕食には、最終の打ち合わせを兼ね、プロジェクト24のメンバーをはじめ、24組の役員、



有縁の方々等ご一緒いたしました。そこでもアフタフ・バーバンさんのリードのもとにあそび表現活動を通して賑やかにすごしました。(青少年部会長 谷寿子)

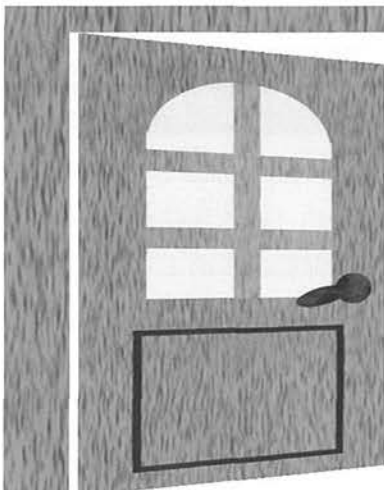
“アフタフ・バーバン”って何？

アラビア語で「ひらけ～ごま」

「扉を開く」という意味だそうです。

正式名称 「NPO 法人あそび環境Museum アフタフ・バーバン」

広く子どもたちから大人に対してあそび表現を通じて、共に遊びあい関わり合う中で一人ひとりが自分らしく表現することを目指し、豊かな遊び環境及び豊かな社会を作り出すことを目的に活動されている団体です。



当日の様子と参加者の感想



*ひとつの事業を進めるにあたり、たくさんの方々にご協力をいただきました。さまざまなきっかけで仲間や縁が広がる嬉しさを感じました。スタッフ、引率、参加者、すべての方に感謝します。

*いつの間にか引き込まれている自分に気づきアフタフさんのなりきり度に感心させられました。

*あの日あの場所に集えた人たち全てのご縁の深さを感じずにはいられません。「有り難し」ところ熱くなりました。とても感謝しています。

*どの子ども受止めてくださる先生方の姿勢を見習いたいと思いました。



*子どもたちのワクワク・ドキドキの眼差しが、とても印象的でした。

*皆の忍者になりたい熱い気持ちが、小雨を降らせていた雨雲をぶっ飛ばしたようでした。1年生もひとりでグループ参加できました。学区を越えて集まる素晴らしさを感じました。

*みんなでお勤めをして、手を合わすことから始めるその大切さを改めて感じました。これからも参加したいと思います。



*前日の懇親会がプチ研修会になりました。大人から子どもにタイムワープするのに、さほど時間はかかりませんでした。当日も、次の世代を担う若者たちが沢山参加してくれました。バーバンさんからはその場にいるものが、あっという間に仲良くなってしまう不思議なコツを教えてもらいました。





大千山充滿寺に 新住職ご誕生

去る3月27日、充滿寺（高月町西野）に新住職様ご一家が入寺されました。お喜びの中にも厳かな19世住職の継承式が、責任役員・総代をはじめ約300人の門徒各位列席の中、法類各寺様・新住職の父母兄

姉様ご臨席のもと、つつがなく執り行われました。

第1部の入寺式は、新住職様ご一家が門徒各位がお待ちの中を、正門より責任役員に先導され、本堂ご仏前の前に着座し入寺の報告をされました。その後各門徒各位と向き合われ新住職様が自身の紹介と抱負を語られ、奥様、長男、次男、長女、父母、兄姉様の紹介がありました。続いて代務者・前坊守・責任役員・子ども代表者より「今日の佳き日を心待ちにしていました・歴代住職と門徒との篤い信頼関係を新たに築けるよう門徒一同努めます」との歓迎の言葉がありました。門徒一同様からは法衣贈呈があり、最後に代務住職（専照寺）・願超寺・法泉寺（大阪市）の各ご住職様から温かい励ましの祝辞が述べられました。

第2部の住職継承式は、ご来賓・法類等の各寺住職様と共に新住職様による継承法要が勤まりました。次に新住職様が敬白で、充滿寺を継承する旨を述べられました。続いて阿弥陀経・正信偈の勤行があり、門徒全員がお焼香をされ、最後に恩徳讃を斉唱されました。その後新住職様ご一家と門徒全員の笑顔の記念写真撮影が行われました。

第3部は、新住職ご夫妻と門徒各位の懇親の席が設けられ、和気あいあいの雰囲気でも過ごされておりました。

入寺・住職継承式の大変お忙しい中、新住職様より抱負を頂きましたので、紹介させていただきます。

「この度、大阪の高槻より充滿寺へ家族五人で入寺させて頂きました。慣れない土地で戸惑いを隠せませんが、周りの皆様の声にしっかりと耳を傾けながら、この湖北に根付いている土徳をかみしめて参りたいと思います。「これからは、これまでを決める」今私が最も大事にしている言葉です。常に終着が始発となるお念仏の道を皆様と共に歩ませて頂きたいと思います。どうぞご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。」



（取材）広報部会 水上喜久男

各寺の法座の案内

寺院	座名	期日	法話者
浄教寺（東阿閉）	永代経	6月5日（日）10時、13時30分	澤面 宣了氏
妙覚寺（東柳野）	永代経	6月2日（木）午前・午後	佐藤 義成氏
明楽寺（木之本）	御影道中	5月5日（木）20時	随行教導
樹徳寺（田居）	永代経	5月21日（土）10時、13時30分	祖父江 佳乃氏